

新光小 安全・安心情報

みんなで子どもの安全を守りましょう。

札幌市立新光小学校
校長 堀口 基一
PTA・育てる会
会長 米森 奈津美
令和4年6月27日
No.5

【注意喚起】カラスの威嚇・攻撃が確認されました。

いつ	令和4年6月27日（月）午前
どこで	北区新琴似1条11丁目 新光公園北側路上
どんな	・新光公園北側、生協との間の路上でカラスが通行人を襲うのを見たという連絡が学校に入りました。 ・職員が現場を確認しに行ったところ、3羽くらいのカラスに威嚇されました。 ・学校では、北区土木センターに連絡をし、確認を依頼しました。飛んでいるカラスを捕獲するのは難しいとのこと。極力近付かないようにすること、カラスを刺激しないようにすることなどを確認しました。

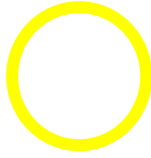
※学級での指導をお願いします。また、本日、HPと保護者メールを配信します。

カラスは繁殖期（およそ4月上旬から7月下旬）になると、卵やヒナを守ろうとする野生の習性から、巣の近くに人を寄せ付けないようにするため威嚇をしてきます。威嚇でも人が遠ざからないときは、後方から低空で飛んできて頭をかすめたり、脚で後頭部を蹴ったりするなどの攻撃をすることがあります。

- ・カラスの縄張りは半径約20～100メートルといわれています。縄張りから離れると、威嚇行動はおさまります。
- ・「カッカッカツ」と小刻みに鳴いているときは、近くに巣がある可能性が高いので、その場から遠ざかるか、迂回するようにしましょう。どうしてもそこを通行しなければならないときは、次のような行動を取り被害を防ぐようにしましょう。巣を見つけても巣の下で立ち止まったり見上げたりしない。頭・肩を覆うように傘を差す。頭を守るために帽子をかぶる。腕をまっすぐ上げて動かさずにゆっくり通過する。歩くときは周囲にも注意してください

【指導事項】

- 1 近付かない。
- 2 襲われそうになったら手を上げる。（バンザイのような格好）
- 3 面白半分で挑発しない。→興奮したカラスが次に通った人を襲うことに



が付いている辺りにカラスが群がっていました。

